

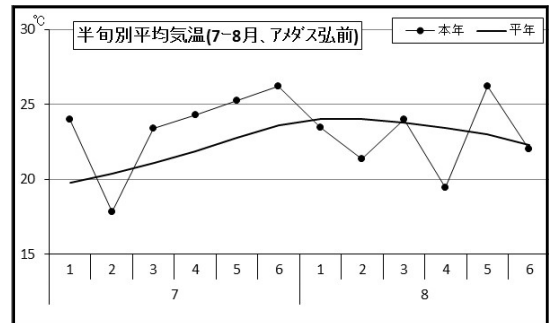
# 農作物の生育状況（10月1日現在）

中南地域県民局地域農林水産部

## 1 気象

9月1～30日の平均気温は平年に比べ0.5℃高かった。降水量は平年比104%、日照時間は平年比108%となった。

9月4～5日に台風第21号にともなう暴風となったが、大きな被害とはならなかった。また、10月1日の台風第24号の被害はほとんどなかった。



## 2 水稻

刈取始めは9月21日で平年並となったが、登熟が緩慢なため、9月30日現在の刈取り作業の進捗は約30%で、平年(50%)より遅れている。

東北農政局が公表した9月15日現在の作柄概況では、津軽の作況指数は「101」の平年並であった。

## 3 大豆

着莢は良く、成熟は順調に進んでいる。刈取は10月25日頃からとなる見込みである。

## 4 りんご

弘前市独狐のふじの肥大(横径)は8.3cmでほぼ平年並(8.4cm)となっている。

トキ及び早生ふじの収穫、ジョナゴールドやふじの着色管理が行われている。

## 5 ぶどう

生育観測ほのスチューベンの収穫は、平年(10月1日)よりやや早い9月29日から始まった。

## 6 もも

生育観測ほ(平川市新館)の川中島白桃の収穫は平年並の9月8日で終了した。

## 7 トマト・ミニトマト

8月下旬の高温による落花で、単収が前年に比べて1割程度減少する見込みとなっている。

夜温の低下に伴い着色が進まず日出荷量は少ないが、品質は良好で販売単価が高値で推移していることから、販売額は例年並を確保できる見込みである。

## 8 高冷地野菜

だいこんは肥大が劣ったことから収量は例年に比べ1割程度少なく、出荷は、例年より1週間程度遅い10月上旬で終了する見込みである。

秋にんじんは、9月28日頃から本格的に出荷が始まり、収量は4,037kg/10aと平年比94%であった。出荷は、例年並の11月上旬で終了する見込みである。

スイートコーンの収穫は、10月上旬頃で終了する見込みである。

## 9 トルコギキョウ

7月定植の作型では、例年より10日程度早い9月10日頃から収穫が始まった。